

第 138 回講習会「科学英語によるプレゼンテーションの実践」

企画 東海支部
共催 精密工学会東海支部
協賛 自動車技術会中部支部，計測自動制御学会中部支部，日本塑性加工学会東海支部，
日本設計工学会東海支部，愛知工研協会
開催日 2018 年 10 月 9 日(火) 10:30 ~ 17:00
会場 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス レセプションホール
(名古屋市東区矢田南 4-102-9，地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車，徒歩 3 分)
(地図) <https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/dome.html>
定員 90 名
締切 9 月 18 日(火)

趣旨

情報化・国際化が進む現在，グローバルな技術競争が進展している企業環境の中では，英語によるコミュニケーションの機会が増えており，技術者にとって科学英語の表現能力向上がますます必要となっています。第 137 回講習会に引き続き科学英語による実践的なプレゼンテーション力の向上，論文作成および英文メールによるコミュニケーション力の向上にも重点を置いた内容で講習会を開催します。

内容

10:30~12:00 (90 分) 「E-mail による効果的なコミュニケーション(講演質疑とも英語)」

椋山女学園大学 准教授 スティーブン・E・クアシャ

理系の学生，技術者が Email 作成において最低限知っておくべきことを紹介します。論文を投稿，あるいは学会など行事に参加しようとする際のやりとりを事例として，Email により連絡するときの注意点を解説します。また，Email を毎日，何百通と受け取るような忙しい人にもすぐに内容を理解してもらうには，簡潔かつ単純な英文を書くことが必須ですが，そのためのテクニック，ルール・エチケットについても説明します。

12:00~13:30 昼休み

13:30~15:00 (90 分) 「講演スライドの作り方(講演質疑とも日本語)」

名古屋大学 特任教授 石田 幸男

学会で講演発表をするとき，ほとんどの場合 Power Point を使います。このスライドの目的は，講演者が聴衆に語り掛け，研究内容の最も重要なポイントをその場で理解させるための補助に使うものです。あなたがスライドを一生懸命に作れば作るほど，スライドは読みづらくなり，聴衆の耳は講演者の声から離れ，目はスライドの上を泳ぐ状態に陥ります。Simple is best ! この講演では，効果的なスライドを作るための基本的なルールについて解説します。

15:00～15:30 休憩

15:30～17:00 (90分) 「科学講演における効果的な英文表現(講演英語／質疑日本語可)」

名古屋大学 教授 エドワード・T・ヘイグ

英語で効果的な科学技術の講演を行う時の実際の表現をストーリー的に紹介します。(今年7月に行われた)第137回講習会では、講演に臨むときの「心構え」を中心に解説しましたが、ここではより実践的なテクニックに焦点をあてて講演します。Title / Outline/Modeling / Theory / Theoretical results / Experimental Setup / Experimental results / Conclusions / Acknowledgement と進むスライドを用いて、適切で役に立つ、様々な表現を紹介します。これらのスライドは、聴講者が初めて国際会議で講演するとき、中身を自分用に置き換えていけば、最低限の英語表現が完成できるようになっています。

参加費

<教材費込み>会員 7000 円 (学生員 3000 円), 会員外 14000 円 (一般学生 6000 円)

<教材費なし>会員 5000 円 (学生員 1000 円), 会員外 12000 円 (一般学生 4000 円)

参加費は一週間前に払い込み、当日支払いの場合は上記の各金額に 1000 円を加算。

使用教材

コロナ社 「<続>科学英語の書き方とプレゼンテーション」

問合せ先

〒464-8603 名古屋市千種区不老町／名古屋大学工学部機械工学教室内

日本機械学会東海支部

電話・FAX (052)789-4494, E-mail : tokaim@nuem.nagoya-u.ac.jp

申込方法

右記 Web サイトからお申込下さい。(http://www.jsme.or.jp/tk/)